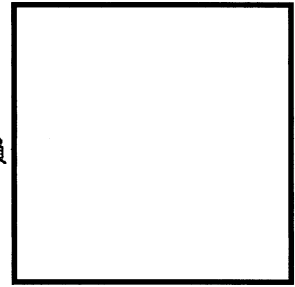


核燃料輸送物設計承認書

原規規発第 2012085 号
令和 2 年 12 月 8 日

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン
代表取締役社長 山崎 肇 殿

原子力規制委員



平成 2 年科学技術庁告示第 5 号（核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示）第 4 1 条第 4 項の規定に基づき、令和 2 年 11 月 10 日付け TT0-T20-030 をもって申請のあった核燃料輸送物設計承認書の有効期間の更新については、同条第 5 項の規定に基づき、現行の核燃料輸送物設計承認書（平成 28 年 12 月 15 日付け原規規発第 1612151 号）を下記のとおり書き換えます。

なお、本核燃料輸送物設計承認書は、本核燃料輸送物が通過し又は搬入される国において定められた原子力事業者等及び原子力事業者等から運搬を委託された者が従うべき義務を免除するものではないことを申し添えます。

記

- 設計承認番号 : J / 1 4 3 / A F - 9 6 (R e v . 3)
- 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
名称 : 株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン
住所 : 神奈川県横須賀市内川二丁目 3 番 1 号
代表者 : 代表取締役社長 山崎 肇
- 核燃料輸送物の名称 : R A J - II 型

4. 核燃料輸送物の種類

- (1) 核燃料輸送物の種類 : A型核分裂性輸送物
(2) 輸送制限個数 : 200個
(3) 配列方法 : 任意
(4) 臨界安全指数 : 0.25

5. 核燃料輸送物の外形寸法、重量その他の仕様

(1) 核燃料輸送物の外形寸法

長さ : 約 cm
幅 : 約 cm
高さ : 約 cm

(2) 核燃料輸送物の総重量 : kg 以下

(3) 核燃料輸送物の外観 : 添付図のとおり

詳細形状は、本核燃料輸送物の核燃料輸送物設計変更承認申請書（平成28年7月15日付け TT0-T16-010）に係る別紙（以下「申請書別紙」という。）の（イ）－第C. 1図から（イ）－第D. 3図までに示されている。

(4) 輸送容器の主要材料 : 添付表-1のとおり

(5) 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量
添付表-2のとおり

6. 臨界安全評価における浸水の領域に関する事項

臨界計算では、密封境界である燃料棒以外の輸送物に水が浸入し、燃料集合体の周り及び輸送容器の内外に水が存在するものとして評価している。

7. 収納物の密封性に関する事項

本輸送容器には密封装置としての構成部品はなく、密封境界は燃料被覆管と燃料棒端栓から構成されている。

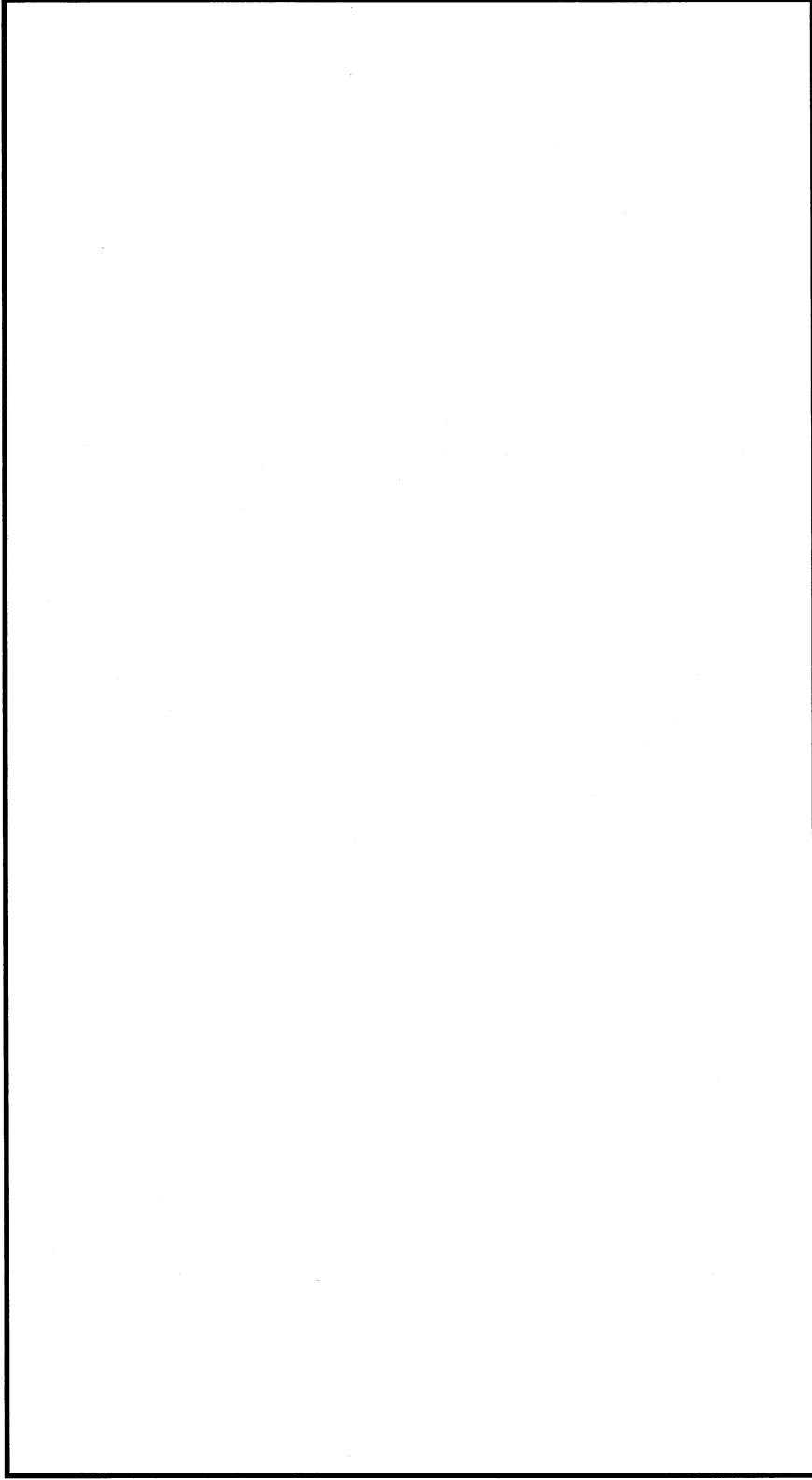
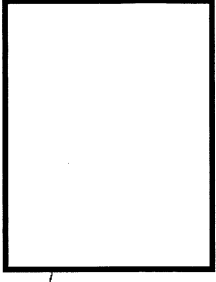
8. BM型輸送物にあつては、BU型輸送物の設計基準のうち適合しない基準
該当しない

9. 輸送容器の保守及び核燃料輸送物の取扱いに関する事項

本輸送容器の保守及び定期自主検査並びに本核燃料輸送物の取扱いについては、本核燃料輸送物の申請書別紙に記載した方法により実施すること。

10. 核燃料輸送物設計承認書の有効期間

令和2年12月8日から令和7年12月7日まで



添付図 R A J - II 型輸送物外觀図

添付表 - 1 輸送容器の主要材料

容器部位		材 質 等
外 容 器	外殻	
	アングル	
	衝撃吸収体	
	ガスケット	
内 容 器	外殻	
	内壁	
	断熱材	
	緩衝体	
	ガスケット	

添付表-2 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量

タイプ		8×8型燃料集合体		9×9型燃料集合体		
項目						
種類		新燃料集合体（二酸化ウラン燃料）				
性状		固体 (二酸化ウラン焼結体又はガドリニア入り二酸化ウラン焼結体)				
収納体数		□				
重量 ^{注1)}	集合体	□ kg 以下		□ kg 以下		
	UO ₂	□ kg 以下		□ kg 以下		
	ウラン	□ kg 以下		□ kg 以下		
放射能 (GBq 以下) ^{注1)}		総量		総量		
		主要な核種 ^{注2)}	232U	□	232U	□
			234U		234U	
			235U		235U	
			236U		236U	
			238U		238U	
			99Tc		99Tc	
濃縮度	5.0wt%以下					
燃焼度	該当しない					
発熱量						
冷却日数						
濃縮ウラン中の 不純物仕様					232U	□
	236U	236U				
	99Tc	99Tc				
	ただし、236U < □ の場合は、232U 及び 99Tc は適用外					

注1) 燃料集合体 □、1 輸送物当たり。

注2) 主要な核種の放射能の量は、ウランの子孫核種を含まない収納物の放射能強度の合計が最大となる値である。